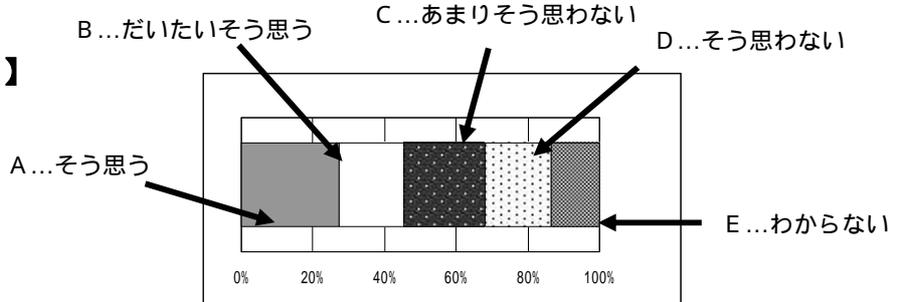


平成28年度 富士見台小学校 学校評価報告書

練馬区立富士見台小学校 校長 眞 瀬 敦 子

今年度は、SNS ルールの取り組みについての質問を加えました。来年度の本校の教育を更に充実させるため、皆さんから寄せられた評価を真摯に受け止め、対策を考え実行していきます。

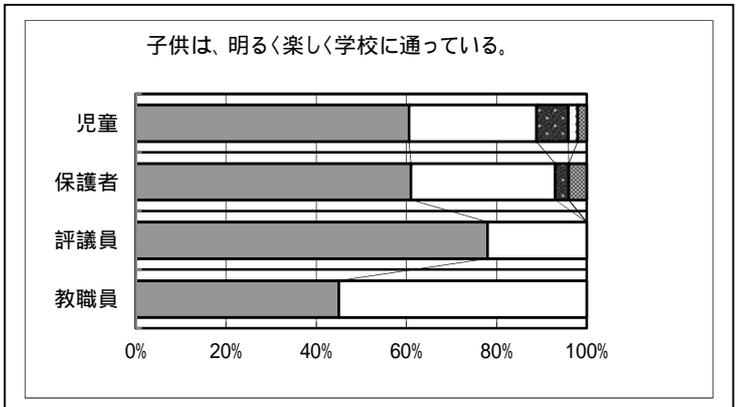
【 評 価 基 準 】



子供は、明るく楽しく学校に通っている。

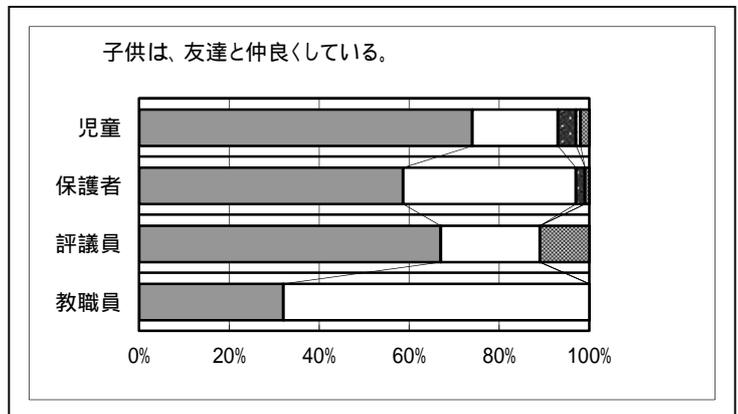
一昨年から続き、どの評価者からも100%に近い高い評価を得ました。ただし、児童の約90%が、「学校に通うのが楽しい」と考えている反面、7%が「あまり楽しくない」、2%が「楽しくない」、2%が「わからない」と答えています。これは昨年とほぼ同じです。

本校では昨年度より、毎月必ず何らかの方法で児童の意識調査をしています。子供のつまずきの原因を全て取り去るのが良いこととは限りませんが、児童一人一人をきめ細かく観察し、掴み、それぞれの成長を助ける対応をしていきます。



子供は、友達と仲良くしている。

児童の93%、保護者の96%が、肯定しています。嬉しいことです。評議員の11%が、「分からない」と答えているのは、数回の授業参観では見えないところがある、ということなのでしょう。本校では、人を思いやる心を大切に、人を傷つけるような言動は、機を逃さず指導するよう努めてきました。これからも指導者自身が温かく児童を見ながら、「かしこく・やさしく・たくましい」子供を育てていきます。

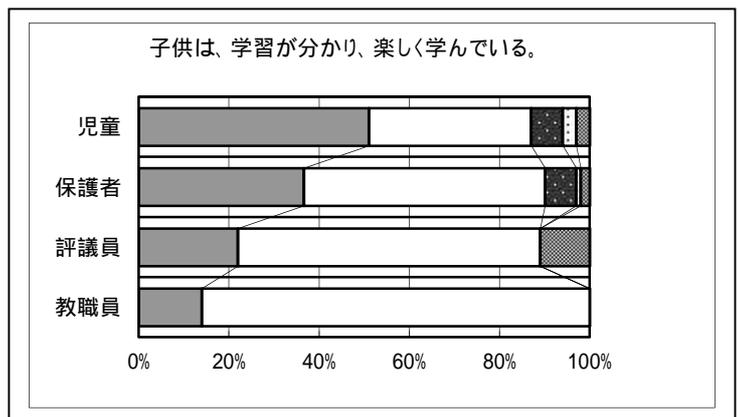


子供は、学習が分かり、楽しく学んでいる。

これもおおむね大変高い評価をいただきました。児童の87%が「学習が分かり楽しい」と答えています。保護者も91%がA,Bの評価でした。教職員の100%が「だいたいそう思う」という評価です。評議員は1名の方に「わからない」のE評価を頂きました。

学校公開や授業参観などで、子供たちが楽しく学んでいる様子をお知らせいただいたのだと思います。

これからも、家庭、地域の皆様のお力を拝借しながら学ぶことが楽しい学校づくりに努めてまいります。

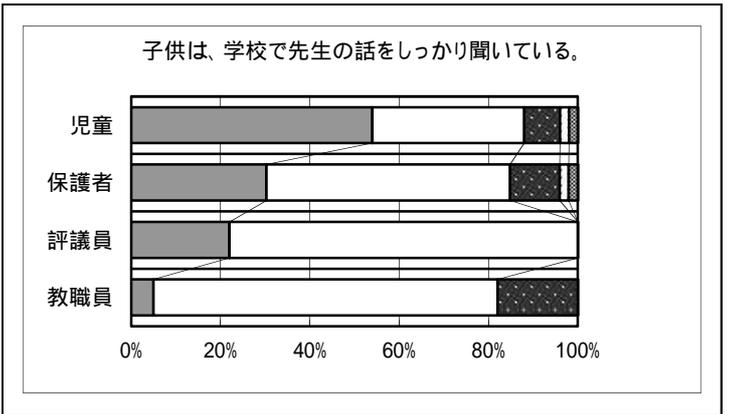


子供は、学校で先生の話をしっかり聞いている。

児童自身の評価は88%で昨年とほぼ同じでした。授業参観をした評議員の方も100%が「そう思う」「だいたいそう思う」との回答でした。教員、保護者の評価も80%強というところです。

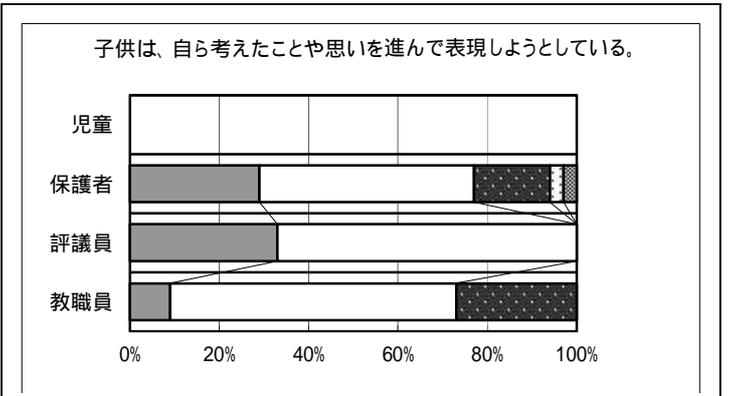
「聞く力」は全ての学習の基礎となります。保護者の皆さんによる「読み聞かせ」は、楽しみながら一生懸命聞こうとする子供たちを育てています。今年度から教員全員による一斉読み聞かせも始めました。

来年度も引き続き意識して、聞く力を育てていきます。



子供は、自ら考えたことや思いを進んで表現しようとしている。

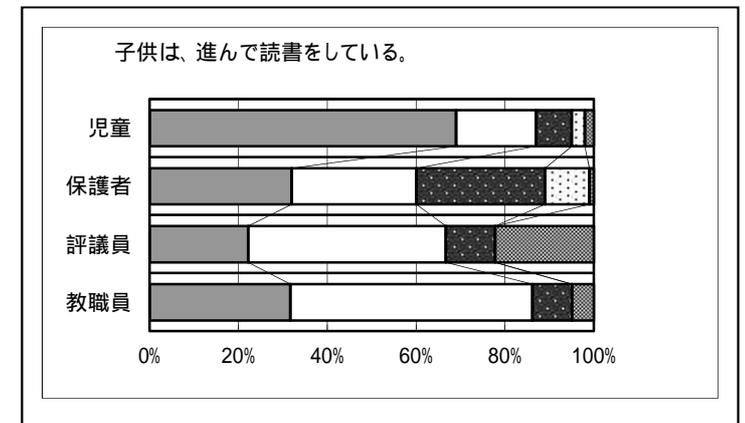
この項目は、児童の考えや思いが伝わっているかという観点から、児童以外の人に評価していただきました。学校公開などの授業観察で、評議員の方は皆さん、「進んで表現しようとしている」と感じてくださったようです。しかし保護者の22%、指導している教職員の27%が、十分でないと感じています。来年度も引き続き、児童が自分の考えをしっかりとった上で進んで表現できるよう、授業だけでなく学校生活の様々な場面でも指導していきます。



子供は、進んで読書をしている。

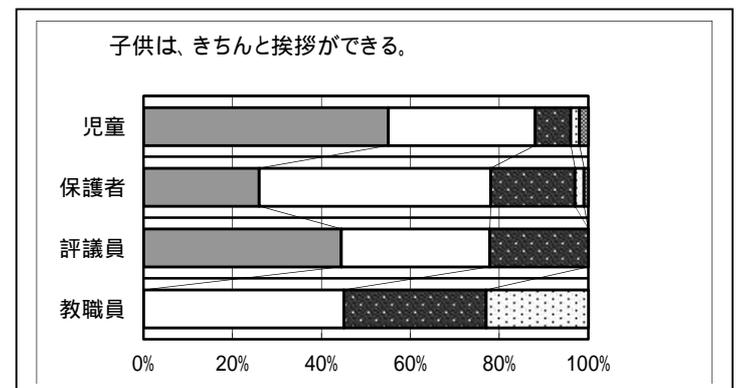
H26年度から、朝読書を週3回に増やし、担任も一緒に本を読んでいます。学校全体が心地よい静けさに包まれ、そのまま落ち着いた雰囲気の中で1時間目の学習に入っていくことができるのも朝読書の効能です。

保護者の読み聞かせ、お話の会の方の語り、図書支援員のブックトーク等に加えて、教員全員による一斉読み聞かせも軌道に乗ってきました。児童自身の評価もほぼ昨年同様87%と高いのですが、昨年低かった評議員の皆さんの評価が回復しました。保護者の評価は60%と昨年同様でした。夏の課題の親子読書が定着してきた効果もあるでしょう。ご家庭でも月に1回だけでもテレビを消して、親子で本に読み浸る時間とっていただけたらと思います。学校でも来年度は、教員全員による一斉読み聞かせの回数をさらに増やし、昨年度職員研修で行ったビブリオバトルも、児童に広めていきたいと考えています。



子供は、きちんと挨拶ができる。

児童の88%、保護者の78%が「できている」「ほぼできている」と考えています。評議員は77%でしたが、教職員は45%しか満足していないという結果が出ました。直接に指導に当たって子供に接している教員は評価が厳しいのでしょうか。今年度本校では、年5回の教員による挨拶運動に4年生以上の児童を加えて実施し、PTAも毎月3日ずつ、運動を行ってくださっています。私も毎朝校門に立って挨拶をしていますので、ずいぶんよく挨拶の声が出るようになっていっているのを実感しています。でも、それが十分日常化でき

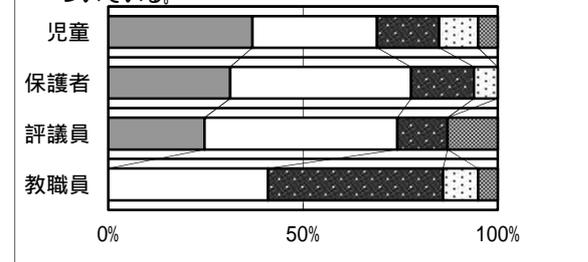


ているかといえば、残念ながらまだまだです。いつでもどこでも自分から進んで挨拶のできる子と、そうでない子とがはっきり分かれているようです。今後も会釈も含めて、習慣化させることを目指して、指導していきます。ご家庭でも、家族間の挨拶や、地域の方への挨拶を親子で心掛けてみてください。

子供は、早寝早起きなどの基本的な生活習慣が身に付いている。

児童、保護者、評議員の3者とも約70%ができていると考えていますが、教員の評価は「あまりそうは思わない」が45%で「だいたいそう思う」の41%を超えました。の挨拶同様、直接に指導に当たって子供に接している教員の評価が厳しいという結果になりました。本校では年に3回「生活チェックカード」を実施し、基本的な生活習慣を点検しています。その結果を見ると、高学年に進むほど就寝時間が遅くなるなど、生活習慣が乱れてくる傾向がはっきり分かりますので、年1回開かれる学校保健委員会では、こういった問題について、資料を示して話し合いをしています。ご家庭でもう一度、生活習慣を見直すと共に、こちらにも是非ご参加ください。

子供は、早寝早起きなどの基本的な生活習慣が身に付いている。

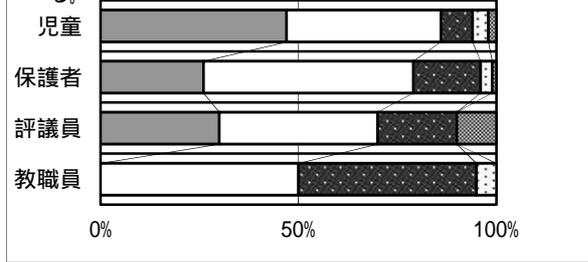


子供は、自分の健康や安全に気を付けることができる。

この評価は、児童は高学年を対象にしていますが、8割以上の児童が自分ではできていると考えているのに対し、保護者、評議員、教職員の順にそう考える割合が低くなっていきます。これは昨年同様の傾向です。大人の方が児童に対して、もっと健康や安全に注意してほしいという強い願いをもっていることの現れでしょう。

現代社会の中で自分の身を守るということは、交通安全の他に、うがい手洗いを始めとするや健康的な生活習慣、食生活、携帯などの情報モラル等、多岐にわたっており、且つ大変重要なことです。これも学校保健委員会や情報モラル講習会の対象ですので、多くの保護者の方にも参加していただきたいと思います。また学校では、ご家庭だけでなく地域とも連携をとって、児童の指導に当たっていきます。

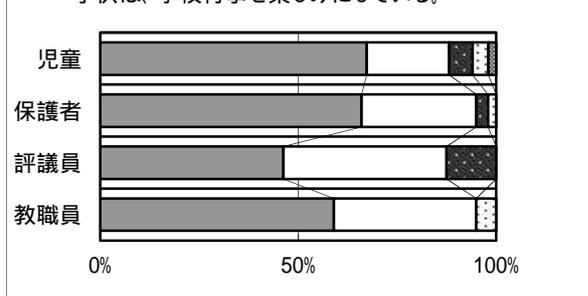
子供は、自分の健康や安全に気を付けることができる。



子供は、学校行事を楽しみにしている。

教員はもちろんですが、児童・保護者共に、ほぼ90%以上の高い評価です。学校行事は、児童に協力の大切さや自己有用感をもたせることのできる大切な時間です。昨年度からは、児童の発達段階なりの自治力やリーダーシップを育てられるように、一昨年度までたてわりでお店を出していた富士見台フェスティバルを、学級単位で実施してきました。これからも、狙いをはっきりさせ、児童の力を高めていく行事計画を進め、実践していきます。

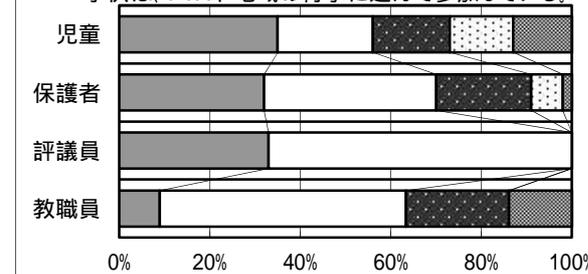
子供は、学校行事を楽しみにしている。



子供は、PTAや地域の行事に進んで参加している。

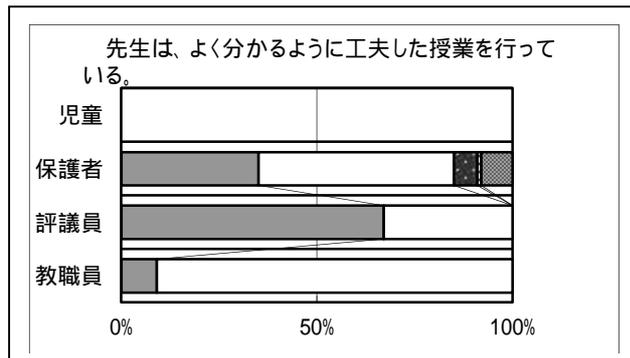
「そう思う」「だいたいそう思う」の児童のポイントが6割弱とまだまだ低く、残念です。「サンマで全校親睦会」や「すいかわり」、「応援団まつり」や「谷原音楽祭」、「豆まき」など、地域に根ざしていたり、子供のことを考えてよく練られていたりする行事ばかりです。スポーツや習い事と重なってしまう場合は仕方ありませんが、学校でも更に呼びかけますので、ご家庭でも是非積極的に送り出してください。

子供は、PTAや地域の行事に進んで参加している。



先生は、よく分かるように工夫した授業を行っている。

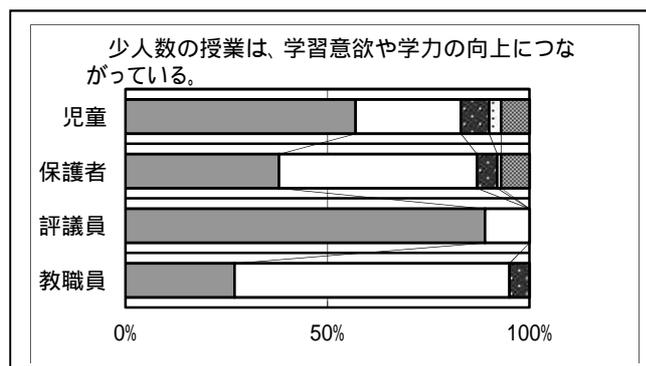
保護者の85%や評議員の方たち全員が高い評価をしてくださっています。特に評議員の方からは67%が「そう思う」と、高い評価をいただきました。教員は「だいたいそう思う」です。もう少し胸を張って「工夫している」と言い切れるよう、算数以外の校内研修なども更に充実させていきます。



少人数制の授業は学習意欲や学力の向上につながっている。

指導を受けている児童で「そう思う」と答えたのは57%で、「だいたいそう思う」と合わせると、83%になり、児童自身が一番少人数制の良さを感じていることがわかります。

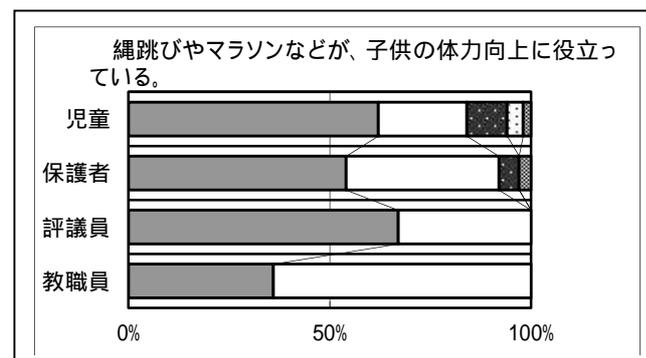
平成27・28年度は、算数における少人数指導法を研究テーマとして、全校で算数の研究に取り組みました。保護者の評価も87%と良くなっているのはその成果だと言えるでしょう。来年度も研究を続け、さらに多くの児童に、「少人数制なのでよく分かった」、「授業が楽しい」と思ってもらえるよう頑張ります。



縄跳びやマラソンなどが、子供の体力向上に役立っている。

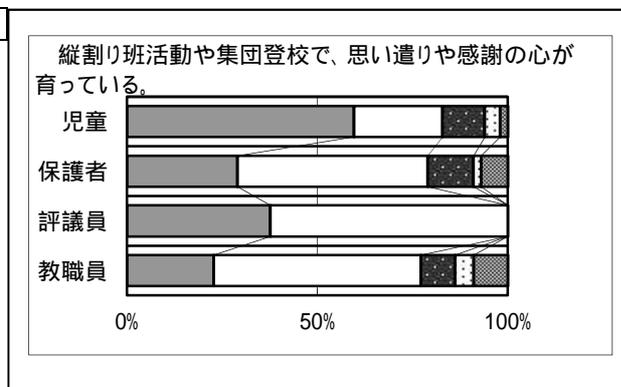
この項目は、いずれの評価者からもおおむね高い評価を得ました。特に児童は「そう思う」が62%で、「だいたいそう思う」と合わせると84%でした。またA、B評価を合わせた割合は、保護者が92%と、児童の84%を超えているのも特徴です。

本校では、今年度から東京都教育委員会の推奨する「コーディネーショントレーニング」を体育の指導に取り入れています。また、26年度から土曜授業の機会に、低学年で親子体操教室を実施しており、アンケートでも全ての方から好評を得ています。休みの日などに是非、親子で一緒に体力作りに取り組んでみて下さい。



縦割り班活動や集団登校で、思いやりや感謝の心が育っている。

いずれの評価者も約80%がそう思っており、児童は82%、保護者は92%、評議員は100%でした。PTAの校外委員さんのお陰で、集団登校も順調に行われるようになり、上級生と下級生が仲良く手をつないだり、楽しそうに話したりしながら登校する姿が、たくさん見られました。縦割り班活動は、これからも本校の特色の一つとして、私達が目指している、より質の高い心の教育ができるよう、内容を工夫・精選していきます。



子供のことで困ったとき、教職員に相談できる。

この項目の保護者からの評価が、昨年度と比べて6ポイント上がり、88%とほぼ9割の方が「相談しやすい」と考えてくださっているというのは、大変嬉しいことです。これからも保護者の皆さんの信頼に応えられるよう、開かれた学校作りを推進していきます。反対に、「そう思わない」「あまりそう思わない」と考えている児童が19%でした。

私達も児童が相談しやすいと感じる先生であるための研修を重ね、アンテナを高くして、児童一人一人をしっかり見取る目を養っていきます。

学校は、保護者からの連絡に対して適切に対応している。

この項目も全ての評価者から高い評価をいただくことができました。特に保護者評価が93%と、昨年よりも2ポイントアップして大変高くなったことは、嬉しい限りです。「そう思わない」「あまり思わない」と感じている4%の方にも、信頼していただける学校作りを、更に進めて参ります。

学校は、学校や子供たちの様子を分かり易く発信している。

この項目に関する評議員評価は100%、保護者評価は「そう思う」「だいたいそう思う」合わせて85%と昨年度と同じになりました。学校ホームページを小まめにアップし、「学校日記」のページも充実させています。学年便りや学校だよりもホームページで読めるようになっていました。各学年も学習活動の様子を小まめに報告しています。移動教室中には、児童の活動の様子を毎日アップしました。合唱団のページもあります。

学校だよりや学年だより、ホームページをより良いものにしていくための工夫を、今後も重ねていきます。

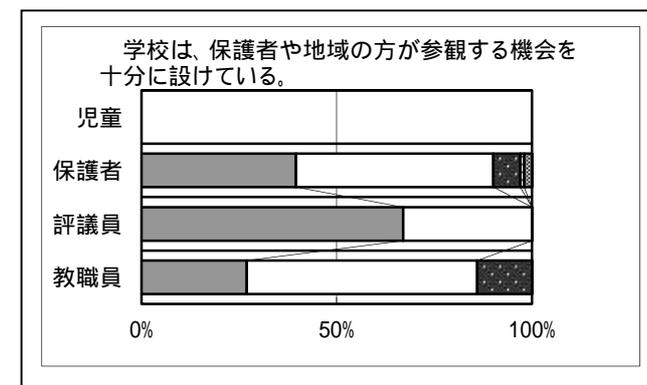
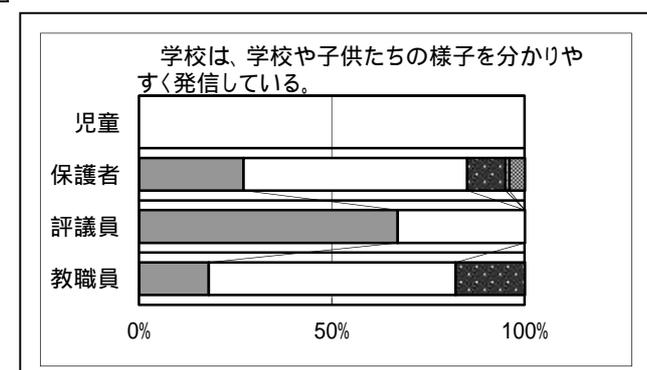
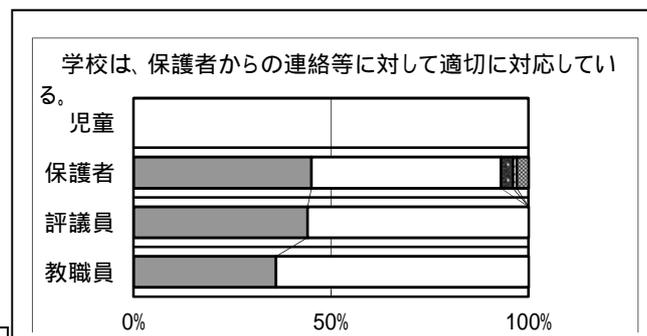
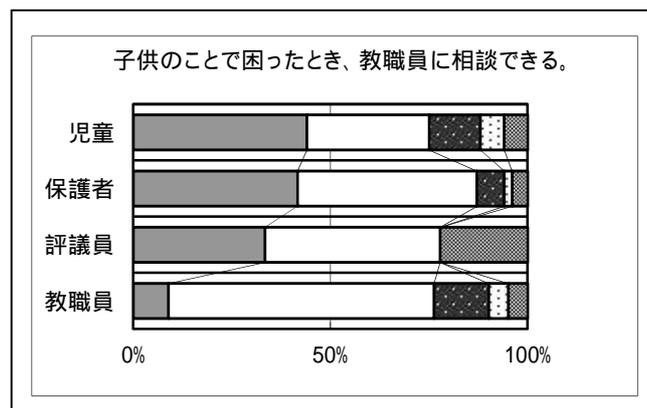
学校は、保護者や地域の方が参観する機会を十分に設けている。

この項目にも評議員が100%、保護者も91%という、高い評価をいただきました。本校では土曜参観だけでなく、より多くの方にご来校いただけるよう、他の曜日の参観も設定しています。また、毎月学校にいらしていただく機会があるように、行事や保護者会等の予定を組んでいます。

今年度は、球技大会や親子体操教室、2分の1成人式、などの参観の機会を設けました。是非来年度も、年度始めにお配りする「年間行事予定表」や毎月の学校便り、学年便りをご覧になって、できるだけ多くご来校くださり、様々な場面での子供たちの姿をご覧ください。

学校は、子供の安心安全に十分配慮している。

学校の安心安全に関しては、保護者の91%、評議員のすべての方が肯定的に見てくださっています。PTAのスクールガードに加えて、安全安心ボランティアに登録して、児童の安全を見守ってくださる方が増えているのは有難いことです。災害に対しては毎月行う避難訓練を常に検討し、さらに12月には避難拠点連絡



会と合同で防災訓練を実施しています。

不審者等の情報も本校の近隣ではあまり多くはありませんが、皆無ではありません。来年度も常に危機意識をもって、より一層児童の安心安全に配慮していきます。

① 掃除や片付けをしっかりと、きれいに気持ちよくしている。

児童の自己評価では、56%が「しっかりやっている」と答え、31%が「だいたいやっている」と思っている反面、12%の児童が「していない」「あまりしていない」と考えたり、意識して行っていないかたりしていることが判りました。この割合はここ数年あまり変わりません。これからも、自分の学校をきれいにするという「愛校心」、みんなで使う場所を、一人一人がきれいにするという「公共心」や「奉仕の精神」を意識させて、清掃指導を行っていきます。

② 学校はいじめの防止に十分努力している。

児童の76%が「そう思う」「だいたいそう思う」と答えている反面、保護者は63%と児童より低くなっており、26%がわからないと回答しています。児童が高いのは、5年生を対象としたスクールカウンセラーによる全員面接があり、年3回のふれあい月間のいじめ防止アンケートに加えて、本校独自の、毎月のいじめの早期発見のための「にここふれあいアンケート」に回答していることあると思います。

いじめの防止、早期発見と解決については本校でも重点課題としてとらえ、毎週木曜日の生活指導夕会、月1回の特別支援委員会の話し合いで、問題の芽を早期発見し、全校で共有して指導に当たっています。

③ 幼稚園・保育園・中学との連携は子供の成長に役立っている。

アンケートの数値から、児童は異校種との連携活動を楽しんでいる様子が分かります。石東中の吹奏楽部や演劇部の本校に来てもらったの演奏や上演も恒例になり、大好評でした。特に、一昨年から行っている幼稚園・保育園との連携活動を体験している低学年の評価が高くなっています。保護者の「分からない」が16%から13%に減少したのも意義が浸透してきたということでしょう。

本校は一年度から、石神井東小・石神井東中との小中一貫研究を行っています。今年度は新たに学習規律の研究に取り組みました。また、2年生は大泉特別支援学校との副籍交流も継続しています。

④ 子供や家庭はSNSルールを守っている。

児童は4年生以上に聞いています。児童の「あまりそう思わない」「そう思わない」が合わせて13%でした。保護者では「あまりそう思わない」が7%でした。夏休みにせっかく話し合っつくったSNSルールですから、ご家庭でもう一度確認していただきたいものです。家庭内のことですから教員には見えにくいですが、学校としては「十分ではない」と考えています。今後も、SNSを使った問題が起きないようにご家庭と連携を取りながら、子供たちを見守っていきます。

